

1 長岡市の福祉・健康の背景

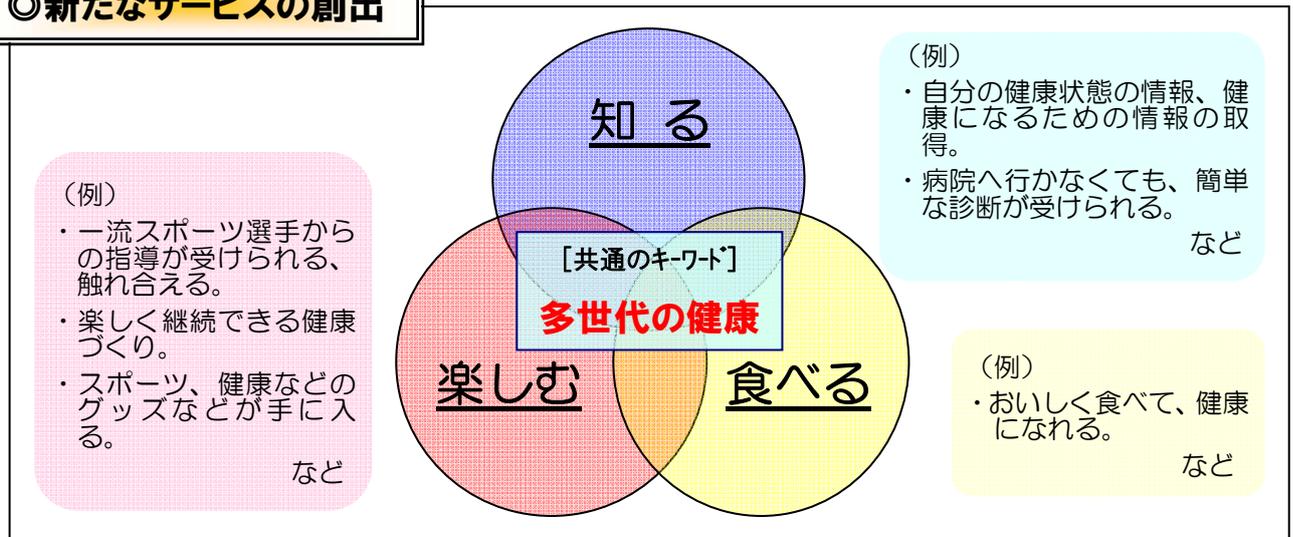
- 少子高齢化の進展(長岡市の高齢化率は25.7%。全国平均より2ポイント高い。)
- それぞれ独自に事業実施されている健康・医療・福祉3分野の連携
- 長岡の中心市街地における健康・医療・福祉各分野のサービス提供の市民ニーズが高い。

2 内閣府による「特定地域再生事業計画」認定のポイント

- ※『特定地域再生事業』とは、「少子高齢化の進展に対応した住環境の形成」、「人口減少、高齢化の進展等に対応した地域社会の形成」などの全国共通の重要な政策課題を、全国のモデルとなる先進的な方法で解決に取り組む地方公共団体に対し、内閣府が重点的に支援する制度。
- 本市の計画が、健康・医療・福祉3分野の連携及び多種多様な民間事業者等を巻き込む官民連携の事業モデル構築を目指していること
 - アオーレ長岡をはじめとした市役所機能の分散配置や都市機能の更新と再集積等の「まちなか型公共サービス」の展開が高く評価されていること。

3 研究会への期待

◎新たなサービスの創出



多世代の市民がまちにきて、楽しみながら健康になれるまちづくり

長岡市の展望

- 民間のノウハウ、アイデアを活用し、新たな視点での地域に根ざした健康サービスの創出を図り、市民へのサービスの充実を図りたい。
- アオーレ、まちなかキャンパス、子育ての駅など特徴ある長岡市の公共施設等を活用し、健康サービスの新たな展開を図ることにより、市民へのサービスを決め細かく提供したい。
- 長岡の様々な企業や市民が、健康サービスの提供者として参加できる新たな仕組みを考えたい。